

News Release

2018年11月20日
日立キャピタル株式会社

日立キャピタルのITシステム開発の取り組みが「IT賞(IT奨励賞)」を2年連続受賞



日立キャピタル株式会社(執行役社長兼CEO:川部 誠治/以下、日立キャピタル)は、このたび、公益社団法人企業情報化協会(以下、IT協会)が主催する「平成30年度(第36回) IT賞」において、「経営基盤強化におけるITシステム開発」の取り組みで将来性・発展性が認められ、前回に続き「IT奨励賞」を受賞しました。

IT賞は、1983年にIT協会が「OA賞」としてスタートさせ、IT化の促進・活性化に寄与した事例を表彰する制度です。「ITを活用した経営革新」に、顕著な努力を払い、優れた成果が認められた企業・機関・事業所・部門あるいは個人に授与され、今回で第36回目を迎えます。日立キャピタルは、昨年の「経営基盤強化に向けたシステム統合への取り組み」に続き、2年連続でのIT奨励賞受賞となりました。

日立キャピタルは「2016～2018年度中期経営計画」において、国内外で、競争力強化に寄与する質の高い経営基盤をめざし、事業の品質や効率の向上、コスト削減を図ってまいりました。フロントをサポートするバックオフィスとコーポレート部門で、「事務のファクトリー化」と、システムの統・廃合や老朽化更新にとどまらず、RPA・AI導入など、より先進的ITの活用を含めたIT基盤整備からなる「攻めのIT」を推進しています。

2017年1月に経営基盤強化統括本部に改革組織「システム統合プロジェクト」を立ち上げ、基幹システムの統・廃合及び業務体制の変革を推進し、4つの基幹システムを2つのシステムに集約することで、サブシステムの約40%削減を図っております。また、本年5月から8月には中小企業の小口ベンダーリース向け融資審査にAIを活用する実証実験を実施し、自動審査が可能な割合を約90%まで向上できる効果を確認するなど、先進ITの活用に注力しています。

日立キャピタルは、今後もITシステムの最適化の推進により、経営基盤強化を図っていきます。

■IT協会ウェブサイト「平成30年度(第36回)IT賞 受賞企業決定」

<http://www.jiit.or.jp/information/detail/info36itaward.html>

■報道機関お問い合わせ先

日立キャピタル株式会社

経営企画部 ブランドコミュニケーショングループ [担当:関、魏]

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目3番1号

TEL 03-3503-2118 (直通)

以上